

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 鉦研工業株式会社  
 コード番号 6297 URL <http://www.koken-boring.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 末永 幸紘  
 (氏名) 山田 松男

TEL 03-6907-7888

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	5,791	13.4	549	29.8	536	28.6	467	32.9
26年3月期第3四半期	5,105	29.7	423	—	416	—	351	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 463百万円 (33.1%) 26年3月期第3四半期 348百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	52.14	—
26年3月期第3四半期	39.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,958	2,296	28.9
26年3月期	6,924	1,832	26.5

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,296百万円 26年3月期 1,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,760	14.9	630	22.9	600	21.5	520	28.0	57.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	8,970,111 株	26年3月期	8,970,111 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	3,203 株	26年3月期	3,193 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	8,966,911 株	26年3月期3Q	8,967,043 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期連結決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢などに改善が見られますが、消費増税の駆け込み需要反動の長期化や円安に伴う物価高による実質賃金の下落など先行き不透明な状況が続いております。一方、国内建設市場におきましては、公共投資が堅調に推移するとともに、企業収益改善を背景に民間設備投資も増加しております。

こうした中、当社グループでは、前連結会計年度より開始した「2013新中期経営計画」に基づき、売上の持続的拡大と収益体質の確立を上位目標として、機械本体及び部品・商品の売上拡大、研究開発の強化、海外新興国市場の攻略、バリュー・エンジニアリング手法を活用した原価低減、新たな工事得意工種の確立等を図ることにより、売上高を伸ばすとともに損益分岐点を引き下げるべく注力しております。

当第3四半期連結累計期間は、設備の更新需要や建設投資の増加を背景として、ボーリング機器関連及び工事施工関連の受注がともに伸びたことから、受注高は前年同四半期比19.4%増の6,167百万円となりました。売上高につきましては、ボーリング機器関連は前年同四半期に大型ODA案件の売上があった反動で微増に留まったものの、工事施工関連においては海外の完工高が大幅に増加したことにより、売上高は前年同四半期比13.4%増加し、5,791百万円となりました。

利益面におきましては、売上高の増加と製品原価の低減との相乗効果により、営業利益は549百万円（前年同四半期比29.8%増）、経常利益は536百万円（前年同四半期比28.6%増）、四半期純利益は467百万円（前年同四半期比32.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (ボーリング機器関連)

当セグメントにおきましては、国内販売は設備の更新需要や新規設備投資の動きが促進されたことにより機械本体及び部品の受注が増加し、海外販売は中国、韓国から機械本体などの受注が増加したことにより、当第3四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比16.8%増の3,575百万円となりました。売上高は、海外販売が前年同四半期に大型ODA案件の売上があった反動で減少し、前年同四半期比40.1%減の368百万円となったものの、国内販売が前年同四半期比11.0%増の2,945百万円であったため、売上高は前年同四半期比1.4%増の3,313百万円となりました。

また、原価低減の取り組みが奏功し原価率が低下したこともあり、セグメント利益（営業利益）は292百万円（前年同四半期は261百万円）となりました。

#### (工事施工関連)

当セグメントにおきましては、当第3四半期連結累計期間は海外工事の受注はなかったものの、国内における新たな先進ボーリング工事、大口径掘削工事の大型工事案件の受注により、受注高は前年同四半期比23.3%増の2,591百万円となりました。売上高につきましては、国内工事は先進ボーリング工事、大口径掘削工事、温泉工事等が完工し、海外工事においても2件の大型ODA工事案件が進行したことにより、前年同四半期比34.8%増の2,478百万円の売上高となりました。当第3四半期連結累計期間においては、売上高の増加により、セグメント利益（営業利益）は256百万円（前年同四半期は160百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して1,034百万円増加し、7,958百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が137百万円減少しましたが、完成工事未収入金が380百万円、商品及び製品が239百万円、受取手形及び売掛金が195百万円、仕掛品が142百万円、原材料及び貯蔵品が134百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して1,050百万円増加し、6,298百万円となりました。

固定資産は、車両運搬具、機械装置及び工具器具備品などで102百万円の設備投資を行いました。118百万円の減価償却の実施により、前連結会計年度末と比較して15百万円減少し、1,660百万円となりました。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して570百万円増加し、5,662百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等が68百万円、賞与引当金が64百万円、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が62百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が529百万円、未成工事受入金が23百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して567百万円増加し、4,398百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債及び役員退職慰労引当金が主に定年退職者等への支給により44百万円、リース債務が12百万円減少しましたが、長期借入金の資金調達等により62百万円増加したことにより、前連結会計年度末と比較して2百万円増加し、1,263百万円となりました。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純利益467百万円を計上したことから、2,296百万円となり、自己資本比率28.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年10月27日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成27年1月28日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

(連結業績予想)

売上高	7,760百万円	(前期比	14.9%増)
営業利益	630百万円	(前期比	22.9%増)
経常利益	600百万円	(前期比	21.5%増)
当期純利益	520百万円	(前期比	28.0%増)

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	987,065	849,081
受取手形及び売掛金	1,588,183	1,783,607
完成工事未収入金	288,023	668,352
商品及び製品	1,042,969	1,282,677
仕掛品	281,535	424,019
未成工事支出金	580,228	675,347
原材料及び貯蔵品	262,913	397,168
その他	220,163	222,053
貸倒引当金	△2,547	△3,619
流動資産合計	5,248,535	6,298,689
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
土地	1,079,566	1,079,566
その他(純額)	489,025	473,491
有形固定資産合計	1,568,591	1,553,057
無形固定資産	25,413	22,766
<b>投資その他の資産</b>		
その他	192,841	181,197
貸倒引当金	△111,280	△96,766
投資その他の資産合計	81,560	84,430
固定資産合計	1,675,565	1,660,254
資産合計	6,924,100	7,958,943



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,376,064	1,905,637
工事未払金	71,087	87,413
短期借入金	1,068,200	1,040,200
1年内返済予定の長期借入金	311,100	276,250
未成工事受入金	458,825	482,685
未払法人税等	93,240	25,164
賞与引当金	139,861	75,374
工事損失引当金	-	18,000
その他	312,224	487,856
流動負債合計	3,830,603	4,398,581
固定負債		
長期借入金	363,010	425,210
役員退職慰労引当金	93,489	84,788
退職給付に係る負債	528,967	493,173
資産除去債務	11,262	11,366
その他	263,980	249,130
固定負債合計	1,260,709	1,263,668
負債合計	5,091,313	5,662,249
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,165,415
利益剰余金	532,428	999,941
自己株式	△1,333	△1,338
株主資本合計	1,696,510	2,164,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,784	2,526
土地再評価差額金	162,100	162,100
退職給付に係る調整累計額	△27,607	△31,950
その他の包括利益累計額合計	136,276	132,675
純資産合計	1,832,787	2,296,694
負債純資産合計	6,924,100	7,958,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	5,105,360	5,791,639
売上原価	3,782,724	4,327,184
売上総利益	1,322,635	1,464,455
販売費及び一般管理費	899,090	914,878
営業利益	423,545	549,576
営業外収益		
受取利息	555	398
受取配当金	98	97
貸倒引当金戻入額	14,684	5,896
賞与引当金戻入額	220	-
為替差益	1,437	4,222
その他	13,326	9,206
営業外収益合計	30,322	19,821
営業外費用		
支払利息	34,388	31,368
支払手数料	916	370
その他	1,868	1,587
営業外費用合計	37,173	33,325
経常利益	416,694	536,072
特別利益		
固定資産売却益	4,588	-
特別利益合計	4,588	-
特別損失		
災害による損失	-	6,845
固定資産除却損	105	385
特別損失合計	105	7,231
税金等調整前四半期純利益	421,176	528,840
法人税、住民税及び事業税	69,561	61,317
法人税等調整額	△183	9
法人税等合計	69,377	61,327
少数株主損益調整前四半期純利益	351,799	467,513
四半期純利益	351,799	467,513

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	351,799	467,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,121	741
退職給付に係る調整額	△4,436	△4,343
その他の包括利益合計	△3,315	△3,601
四半期包括利益	348,483	463,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	348,483	463,912

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	ボーリング機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	3,267,193	1,838,167	5,105,360	—	5,105,360
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,114	—	7,114	△7,114	—
計	3,274,307	1,838,167	5,112,475	△7,114	5,105,360
セグメント利益	261,661	160,303	421,964	1,580	423,545

(注) 1. セグメント利益の調整額1,580千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	ボーリング機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	3,313,493	2,478,146	5,791,639	—	5,791,639
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,869	—	3,869	△3,869	—
計	3,317,362	2,478,146	5,795,508	△3,869	5,791,639
セグメント利益	292,631	256,959	549,590	△14	549,576

(注) 1. セグメント利益の調整額△14千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。